

## よく見られるアキレス腱断裂縫合手術術式比較表

項目	アキレス腱断裂低侵襲性吻合術	伝統的開放式手術	外国の類似の経皮低侵襲術	経皮縫合術
治療範囲	1、急性閉合性アキレス腱断裂 2、老朽性アキレス腱断裂 注：馬尾の引き裂き及びアキレス腱止点裂離にも適用	1、急性閉合性アキレス腱断裂 2、老朽性アキレス腱断裂 注：馬尾の引き裂き及びアキレス腱止点裂離にも適用	1、踵骨結節の上2-8cmのアキレス腱断裂にのみ適用 2、老朽性アキレス腱断裂には適用できない	1、踵骨結節の上2-8cmのアキレス腱断裂にのみ適用 2、老朽性アキレス腱断裂には適用できない
切り口	1.5-2cm	8-15cm	2-3cm	1-3cm
手術時間	15-20分	1.5-2時間	40分-1時間	40分-1時間
手術損傷	小、血流障害は小さい	大、血流障害が大きい	小、血流障害は小さい	小、血流障害は小さい
入院時間	1-3日	10-14日	1-3日	1-3日
合併症	全面的に開放手術の合併症を避ける；ふくらはぎの神経の損傷を回避。	感染しやすい、癒着しやすい、皮膚壊死、アキレス腱露出、再断裂、アキレス腱欠損、修復術が必要、術後の切り口が大きく、ムカデ状の傷跡が残り、靴や靴下に当たり、正常な走行に影響する。	極めて刺し傷しやすく、ふくらはぎ神経を縫合、バンドルしやすい。	極めて刺し傷しやすく、ふくらはぎ神経を縫合、バンドルしやすい。
縫合方法及び影響	1.改良された”Bunnel”縫合法は切断裂離しにくい。 2.糸の結び目が少ない(2か所)、結び目アキレス腱の外側で、アキレス腱癒合に対する影響が少ない。	1、縫合方法が多く、縫合線が切断裂離しにくい。 2.縫合線が多く、結び目も多くて大きい、結び目がアキレス腱断裂の端に接するところにあり、アキレス腱癒合に対する影響が大きい。	1、単純な”Box”縫合法は切断裂離しやすい 2、結び目が多く(≧6個)、アキレス腱癒合に対する影響が大きい。	1、”Bunnel”縫合法は切断裂離しにくい。 2、結び目がアキレス腱断裂の端に接するところにあり、アキレス腱癒合に対する影響が大きい。
手術難度	小	中	中	大
リハビリの状況	全行程無料でリハビリ指導し、回復が早い。	回復が遅い。	良	良